

令和5年度 一迫花山商工会 地域貢献計画

栗原市が掲げる「市民が創る くらしたい栗原」「地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」の実現に向けて、令和5年度、一迫花山商工会では次に掲げる事業に取り組みます。

1. 令和2年度に経済産業大臣より再認定された「経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の持続的な発展に資するため、経営支援の強化と地域全体の振興・活性化を図るための国の施策を活用した支援を行います。
 - 地域の経済動向調査の実施（年4回）
 - 需要動向調査の実施（年4企業）
 - 事業者の経営状況の分析（年30企業）
 - 巡回訪問回数（年900回）
 - 事業計画策定セミナー・個別相談会の実施（年4回）
 - 事業計画の策定支援（年15企業）
 - 事業計画策定後の実施支援（年15企業76回）
 - 新たな需要の開拓に寄与する事業（年6企業）
 - 創業支援対象事業者（年1件）
2. 商工会の組織率を向上させ、会員事業所の経営基盤を強化し、地域経済の活性化につなげます。また新規創業者の掘り起しにより、雇用機会の創出に貢献します。
 - 組織率の向上（年度末会員数253名、組織率86.3%）
 - 新たな企業の育成（創業者輩出1件目標）
3. 商店街にぎわい創出を図るため、消費者ニーズに対応した魅力ある商店街づくりを目指します。
 - 商工会年末大売出し事業の実施（年1回）
 - 商店街にぎわいイベントの実施（年1回）
 - 4地区商店会活動への支援（年2回）
 - 共通商品券、スタンプカード事業への支援（年12回）
4. 商工会活動のPR・情報発信に努め、地域コミュニティ活動の中心としての役割を担います。
 - 商工会会報「商工いちほさま・はなやま」の発行（年4回）
 - 商工会ホームページによる情報提供（月更新回数4回）
5. 地域の特産品を活かした新たな取り組みや新商品開発等を行う事業者に対し、栗原市と連携・協力し、販路開拓に向けた支援を行います。
 - 栗駒山麓シオパーク特産品認定事業者等への販路開拓支援（年4企業）